

## 本年度のウズラの非繁殖期調査手法について

### 調査手法

非繁殖期（越冬期）のウズラは潜行性が強く、ほとんど鳴くことはない。また、人が接近しても草陰や地面に伏せて危険がなくなるまで静止し（叶内ほか 1998）、すぐ近くにまで近寄らないと飛び立たない。よって、鳥類の調査法として一般的なルートセンサス法や、人が生息地を歩き追い出して生息を確認する手法が困難な種である。

以上から、ウズラの非繁殖期における調査手法としては、猟犬がウズラを草むらから追い出すことで生息を確認する方法を採用した。本手法は、狩猟者が猟犬に鳥類を追い立てさせ、飛び立たせて捕獲するという猟法の一部を応用したものである。

出典：叶内拓哉・阿部直哉・上田秀雄，1998．日本の野鳥．文一総合出版

### これまでの試行調査結果

九州の3地域で3期実施（12～1月）

- ・ルートセンサス調査：非繁殖期におけるウズラの生息確認は困難あることが確認された。
- ・猟犬・猟犬による追い出し調査：調査の時期や調査地によって結果に差があるが、猟犬効果的にウズラを発見できた。
- ・九州に渡来するウズラは、広大な草原環境以外に、休耕田や刈り取り後の水田にイネ科草本の生えている環境も利用していることが確認された。
- ・ただし、耕起が開始された休耕田や刈り取り後の水田ではウズラは確認できなかった。

### ウズラの非繁殖期（越冬期）調査結果 猟犬による追い出し調査

調査地域		調査日	踏査距離 (km)	確認数	生息密度 (個体/km)
宮崎県	一ツ瀬川左岸	2009年12月9日	2.83	5	1.77
		2011年1月12日	2.33	0	0.00
		2012年1月10日	2.85	0	0.00
	一ツ瀬川右岸	2009年12月9日	2.48	2	0.81
		2011年1月12日	1.64	0	0.00
		2012年1月10日	2.59	0	0.00
加江田川	2012年1月11日	2.07	2	0.97	
熊本県	阿蘇山	2010年1月6日	5.25	10	1.90
		2011年1月13日	5.91	3	0.51
		2012年1月12日	5.16	2	0.39
	阿蘇山(別ルート)	2012年1月13日	7.64	0	0.00

### 課題

- ・ 猟犬による追い出し調査の手法は概ね確立されたものの、猟犬（鳥猟用）を使用する人の協力が必要となり、体制の整備が必要。
- ・ 九州における調査時期については、生息環境の改変となる水田の耕起時期（12月下旬から翌1月上旬頃）よりも前が適期である可能性がある。

## 今年度の調査計画

調査時期：11月中旬

調査適期の検討のため、これまでに調査が実施されていない時期で、確実に二毛作に向けての耕起（田起こし）が始まる前として設定。

調査地域：九州4県と関東1県

これまで試行調査を実施した熊本県、宮崎県に加え、既存手法が他地域でも問題なく適用できるか等を検討するため、新たに鹿児島県、福岡県、茨城県で実施予定（3県とも過去に非繁殖期に生息が確認されている）。

調査方法：猟犬による追い出し調査

調査機材：GPS、双眼鏡、調査記録用紙 など

鳥猟用の猟犬を所有している地元猟友会員（かつてウズラ猟を行っていた方が望ましい）の協力を得て、猟犬による追い出し調査を実施。

調査地は草原（放牧地）、休耕田、刈り取り後の水田などの環境。同行いただく狩猟者がウズラ猟の経験者である場合は、かつてウズラ猟に利用していた猟場が望ましい。

（これまでの試行調査でウズラが確認できた環境）



草原（熊本県阿蘇山）



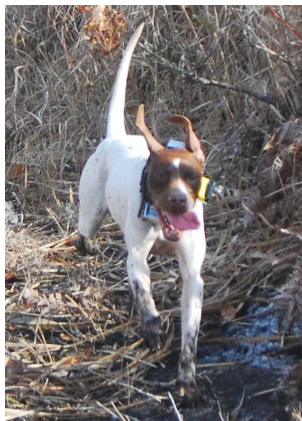
刈り取り後の水田（宮崎県一ツ瀬川）



休耕田（宮崎県加江田川）

猟犬が探索する範囲は、飼い主からおよそ 100m の範囲内。猟犬がウズラ等の獲物を見つけると、獲物が隠れている場所に立ち止まる行動（以下「ポイント」という）をする。

試行調査では、ポイントすると発信音が出る機器を猟犬に装着しており、ウズラ等の鳥類の存在が速やかに把握できる。



狩猟犬(ポインター)

(首輪に装着した機器より発信音が発信される)



鳥(キジ)を捕捉しポイントする

調査地に到着したら GPS の電源を入れて猟犬の追跡体制を整える。その後、猟犬を放し、探索を開始させて調査地を踏査する。

猟犬がポイントした後、猟犬又はポイント地点周辺を同行調査員らが踏査してウズラを飛び立たせ、個体を視認できた場合は 1 羽とカウントする。ウズラの姿を確認できなかった場合にはカウントしない。

ウズラが飛び立った地点を GPS により記録し、確認した個体数と併せて調査票に記入する。試行調査では、調査時間は探索を行う猟犬の集中力等を考慮し、午前 9 時から 12 時までとしている。